

2 目標達成計画

作成日: 平成 21年 11月 30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	地域の中に溶け込んだ施設を目指したいが、具体的な働きかけをしていない。	地域とは自由に行き来をし、双方の不足した部分を補い親しい関係作りをしていく。	イベントの場所として提供、老人クラブ、子供会などと話し合いをもつ。 学校の花壇の草取りボランティア。 老人クラブ会合場所を提供。 冬場のレクリエーション提供。	12ヶ月
2	54	居心地よい空間作りは職員が工夫してしまいがちであった。	その人らしさが出るような個性的な部屋作りをしたい。	昔はどんな暮らしだったのかを家族から徹底して引き出し、図を描いて照らし合わせてみる。 利用者本人と一緒に部屋作りをすすめる。	6ヶ月
3	35	避難訓練がマンネリ化していて、多様な災害を想定していなかった。	急な災害に対して正しい判断をし、素早く対応出来る為の工夫や訓練を怠らない。	避難時の具体的なマニュアルを細部まで決めておく。 必要なグッズの見直し。 防災頭巾の製作をする。 地域と一緒に災害訓練をする。	2ヶ月
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。